

第3回 大草尋常笑楽校 おかしん分校

開講



平成29年3月5日、第3回大草尋常笑楽校おかしん分校を開講しました。

笑 い

あり

大草尋常笑楽校は、額田郡幸田町出身で日本笑い学会会員の杉浦康司さんが「地元の人に喜んでもらえることをしたい」との思いから平成24年4月に開校し、今年で6年目を迎えました。

「入学試験なし、通知表なし、越境入学大歓迎」と呼びかけるチラシに応えるように、毎回町外からの「越境入学者」を含め、多くの受講者が集まります。

「面白さ・楽しさ・ユーモアを生(ナマ)で届けたい」、「地域の人達が気軽に集まるれる場をつくりたい」という杉浦校長の思いに当金庫が共感し、平成26年10月、「おかしん分校」を開校しました。

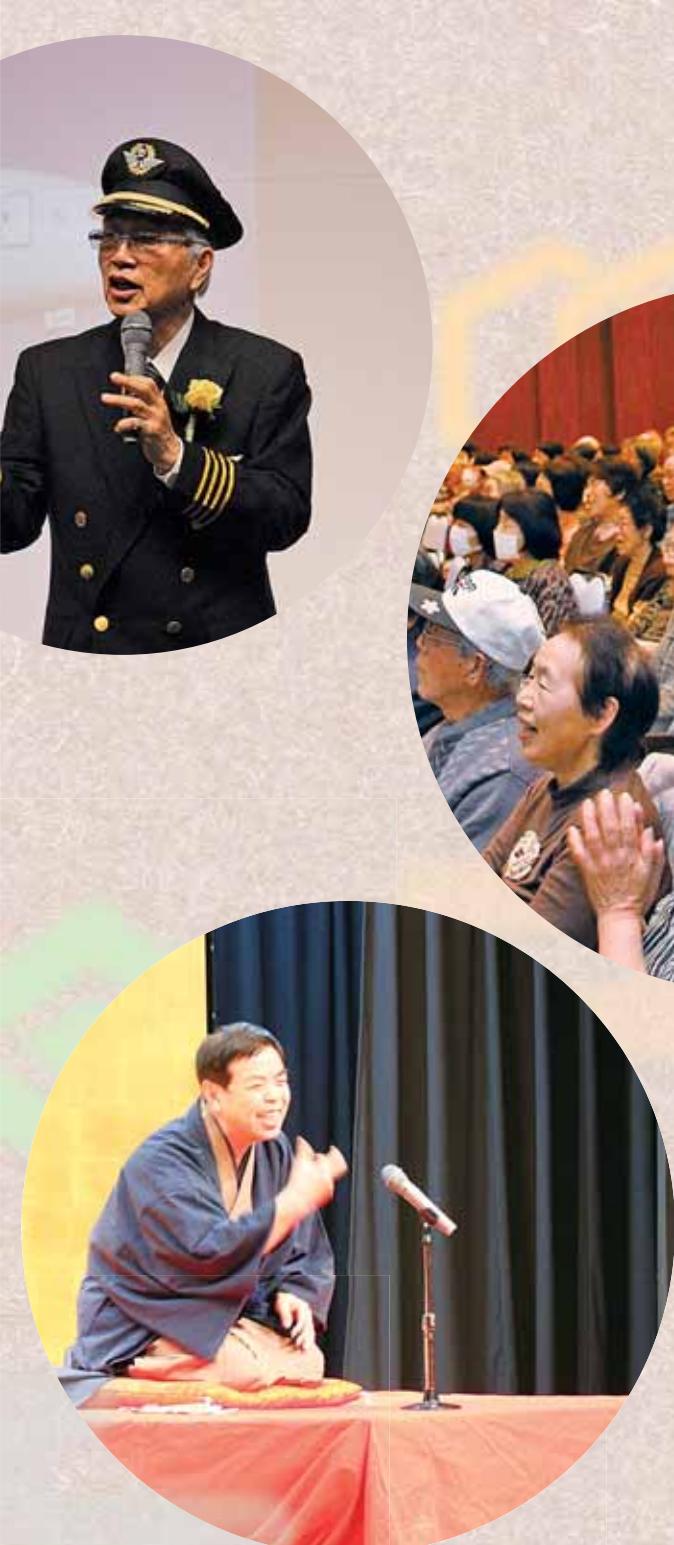
3回目となる今回も、笑いあり、感動ありのユーモアあふれる授業に、

前回を上回る約350

名の“生徒さん”

で会場は終始、

大きな笑いに
包まれました。



感動

あり



本笑い学会関東支部
一桂案二（野中由彦）

傑作選から



体操

あり？



歌

あり

1時限目…修身
「ありがたいお話し」

杉浦ぜつ校長

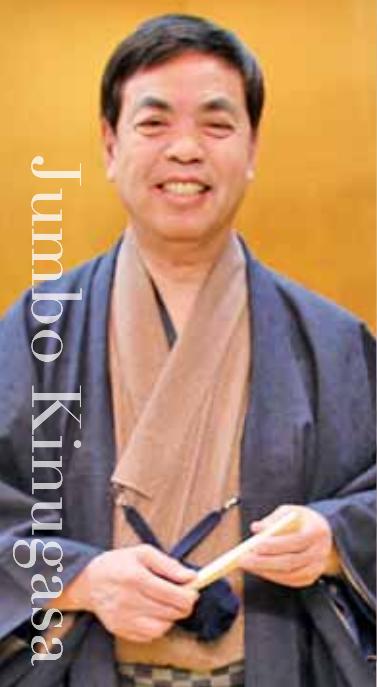
設立者でもある杉浦校長は、「人は一生の間に会うべき人に必ず会える、一瞬も早すぎず「一瞬過ぎない時に」を座右の銘とし、「人ととの出会いにはすべて偶然ではなく必然である」と、人のご縁をとても大切にされています。そんな杉浦校長の人脈の広さ故、毎回個性あふれる講師陣が集結する尋常笑楽校。今回もプロに引けをとらない、アマチュアながらユーモアあふれる講師陣がそろいました。

2時限目…修学旅行

「名物機長の夢実現」 山形 和行

「本日も世界で一番安全なANA全日空便にご搭乗いただき：」。流暢な機内アナウンスとスクリーンに映し出された美しい景色に、本当に別世界に連れていかれたような不思議な空気にお会場が包まれます。

山形さんは、総飛行2万1323時間（地球約373周）無事故で、一人のけが人もなく乗務し「世界で一番安全なフライト」をした機長として知られています。また、飛行機に搭乗したお客様に不安を感じさせない機内アナウンスをされ、全国にファンクラブが出来るほど人望も



落語教室主宰

ジャンボ衣笠

呉信用金庫に勤務する傍ら
38歳から落語とコントにチャレンジ。
定年後は広島弁爆笑落語で
毎年180回程出演



日本笑い学会関東支部運営委員

野中 由彦

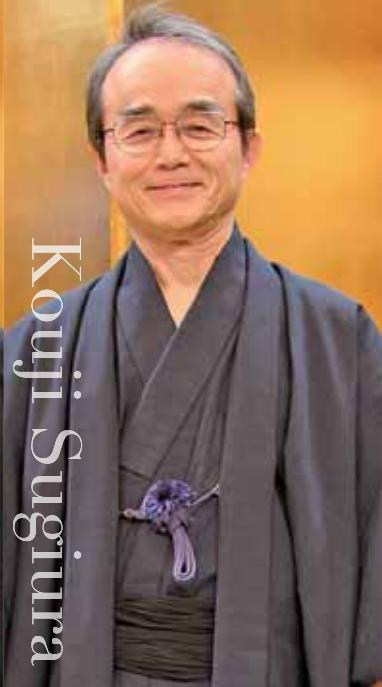
障害者職業カウンセラーとして
北海道をはじめ国内外に勤務。
趣味は冗談・狂歌・尺八・ゴルフ・
ドライブ・温泉旅行 ほか多数



未来工房代表、元ANA機長

山形 和行

パイロット歴44年
総飛行21,323時間!
搭乗客が驚き 笑い そして
感動した 究極のおもてなし!!!



大草尋常笑楽校 校長

杉浦 康司

「人生 面白おかしく
ちょっと ち的に」が人生訓

厚い山形さん。「あいさつは大切。言葉
は話しているうちに心がこもってきます。
この不思議なコミュニケーションツール
は誰でも使えます。何事も心の目をもつ
て見渡すことで、本当の世界が見えてく
るはずです」。言葉の重要性を身をもつ
て知つておられる山形さんから放たれる
ファンタスティックワールドに、観客は
終始引き込まれていました。

3時限目..音楽
「日本民謡の笑いとユーモア」
野中 由彦

民謡はその時代に沿つた替え歌になっ
て歌われることが多々あるそうです。
「民謡の笑いとユーモア、可笑しさは、
歌詞、節、囃子、唄い方、踊り方…すべ
てを兼ね備えた総合芸術です。日本民謡
は無数に替え歌が作られ、支持を集めた
歌詞だけが歌い継がれています。長い年
月に渡り残り続けるユーモア作品は、そ
の場のみの瞬間的な笑いではなく、質の
高い秀れた作品が多い」と野中さん。何
となく知っていた歌も、改めて歌詞を理
解すると知らないかったユーモアがあふれ
ていました。

「アリヤリヤンリヤーン」「ハアソコ
ダヨ」。時折、野中さんの名調子も飛び
出し、会場は大きな笑いの渦に。分かる
歌には合いの手を打ち、皆で大合唱し、

次回も、より多くのかたにお楽しみいた
だき、「おかしん分校」ならではの笑いを
お伝えする場が提供できればと思います。

楽しい時間を過ごしました。

4時限目..国語 「落語」

ジャンボ衣笠

「イヨッ!」「待つてました!」の呼
び声で登場したジャンボ衣笠さん。飘々
とした風貌から放たれる小気味よい言葉
と、全身を大きく使い身振り手振りで
あつという間に観客を引き込む様は、ま
さにジャンボ!大きな笑いを誘います。

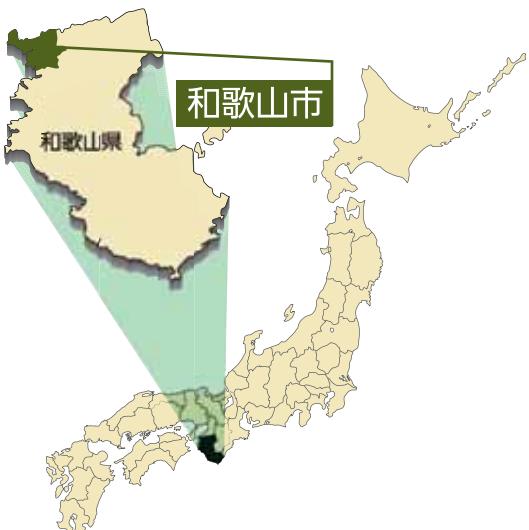
「落語は芝居と違い、大道具などはあり
ません。扇子と手ぬぐいで様々なものを
表現します」。表情や声、さりげなく繰
り出される衣笠さんの高度な技に引き込
まれていきます。

「落語は想像する芸です。話し手の技量
もさることながら、聞いてくださるかた
の想像力に助けられて成り立ちます。人
生経験、知識がなければ想像でできませ
ん」とおつしやる衣笠さんの落語は身
近なテーマで分かりやすく、とても親し
みやすいものが多いです。今回のお題は
「お酒」「定年後の夫婦」「病院」。中年夫
婦の日常をリアルに笑いにしたオリジナ
ルの落語で、終始会場を笑いの渦に巻き
込みました。

家康公と家臣団 ゆかりの地 探訪 ⑦

平成27年11月に家康公と家臣団にゆかりのある信金として「地域連携協定」を締結した全国7信金がその土地の自慢の歴史や文化を紹介するシリーズです。
第7回は、和歌山県のきのくに信用金庫さんに和歌山市を紹介していただきます。

和歌山県和歌山市



愛知県からのアクセス



鉄道
名古屋駅 - 東海道新幹線 - 新大阪駅 -
(約50分)
- JR特急くろしお - 和歌山駅
(約1時間)



▲和歌山城

家康公とのゆかり

紀伊田辺藩の初代藩主である安藤直次は、三河武士として幼少より家康公に仕え、姉川の戦いで初陣し長篠の戦いに参戦。小牧・長久手の戦いで活躍し、家康公から弓を拝領しました。慶長5年（1600年）の関ヶ原の戦いで家康公の使番として従軍し、その

きのくに信用金庫の本店所在地である和歌山市は、紀伊半島の北西部に位置し、温暖な気候と美しい海や山や川の豊かな自然に恵まれ、江戸時代には徳川御三家のひとつ「紀州藩」の城下町として栄え、和歌山県の県都として発展してきました。なお、和歌山城は、天正13年（1585年）に紀州を平定した豊臣秀吉が弟の秀長に築城させたのが始まりといわれています。

後、本田正純や成瀬正成と共に家康公の側近として初期幕政を取り仕切りました。

慶長15年（1610年）、家康公の命により徳川頼宣（長福丸）付の家老に任じられた後も、大御所家康公の側近として駿河政権に参画しました。慶長19年（1614年）からの大坂の陣では、付家老として年少の頼宣に代わって軍を率いて参戦するほか、駿河年寄として成瀬正成とともに軍議に参加し、自藩のみならず諸大名を統率する役割を担いました。

紀伊徳川家の初代頼宣は、家康公の10男として、慶長7年（1602年）に家康公が61歳の時に生まれ、幼少のため家康公の側で育てられ、同じ駿府城で生活をしていました。その後、父家康公が死去して3年後の元和5年

(1619年)に、兄の2代将軍秀忠

公によつて駿府城から和歌山城に移され、御三家紀州藩が成立しました。幕

府の支配を安定させるためには、政治の中心である江戸と経済の先進地である大阪を結ぶ幹線航路を確保する必要がありました。そのため、航路上の重要な場所となる紀伊半島に、秀忠公は、弟の頼宣を駿河から和歌山に移すこととしたのです。安藤直次はこの転封に関連して紀州藩付家老として移り、田辺城を与えられました。頼宣公からの信任は厚く、後に頼宣公は「自分が大名としていることができる」ことは、直次がいてくれたからだ」とまで述べています。

和歌山に移った頼宣公は、和歌山城と城下町の整備を行い、父家康公を祀る紀州東照宮を和歌浦に建立しました。

徳川幕府中興の祖といわれる徳川吉宗は、藩祖頼宣公の孫で、第2代藩主光貞公の第4男として生まれました。ですから、家康公の曾孫に当ります。吉宗は、彼の兄が次々と病氣で死んだため第5代紀州藩主になり、その後、第7代将軍家継公が急逝したため第8代将軍に選ばれました。吉宗公は幕府権力の再興に努め、幕政改革、公共政策、公事方御定書の制定、目安箱の設置など享保の改革を断行し、幕府を建て直すことになります。

和歌山市の産業と観光

和歌山県内には、紀州南高梅・有田



▲紀州東照宮



▲紅葉渓庭園

和歌山市ゆかりの偉人

郷土ゆかりの偉人に多くの方を輩出しておりますが、その一人、華岡青洲は、世界で初めて全身麻酔の方法を完成させた医者で、当時は不治の病とされていました。乳がん手術など数々の大手術を成功させました。門下生は幕末から明治にかけて日本医療を支えました。

南方熊楠は、世界の学者を振り向かせた博物学の巨星で、彼の研究は、博物学、植物学、民俗学、宗教学等といつた多くの分野で高い評価を得ています。

有吉佐和子は、郷土和歌山をテーマに名作を残した作家です。「紀の川」「有田川」「華岡青洲の妻」や「恍惚の人」など、小説の多くは舞台や映画・テレビ化がされています。

世界のパナソニックの創立者、松下幸之助は和歌山市に生まれましたが、父が事業に失敗し、9歳で小学校を中退して大阪へ丁稚奉公。その後、独立して松下電気器具製作所を創立し、電化ブームを牽引しました。和歌山市内の公園には「松下幸之助君生誕之地」の石碑があり、題字は同郷のノーベル賞受賞者湯川秀樹の筆によつて書かれています。

みかん・あら川の桃など全国的にも有名なブランドがあり、柿や山椒は全国一の生産量を誇つており果実王国と呼ばれています。また、主要な地場産業については、家庭用品、梅干、木材・製材、パイアル織物、家具などがあり、いずれも古くから発展してきた産業です。

和歌山市では、鉄鋼業、機械器具製造業、化学工業は規模も大きく和歌山市の労働生産性を高めています。特に、大正3年(1914年)に由良浅次郎という人が、国内初のアリニン(染料・医薬・化学薬品の原料)の合成に成功したことから有機化学工業発祥の地といわれています。現在も多くの中学校工業の企業が和歌山市に集積している、化学工業は和歌山市を代表する地場産業となっています。また、機械器具製造業の分野にも、多くのオンリーワン企業やニッチトップ企業が存在しています。ニット編み機製造の分野で世界シェアナンバーワンを誇るメーカーは、1995年にホールガーメントという縫い目のないニットを全自動で編む技術を世界で初めて開発して世界中のファッショングローバル企業から賞賛を受けました。2008年には、JAXAと無縫製の宇宙船用のニットウェアを開発し宇宙飛行士に提供しています。

市内中心部には、市民のシンボルである和歌山城がそびえ、こんもりと緑



▲紀州おどり「ぶんだら節」

茂る虎伏山にそびえる白亜の天守閣は御三家の威容にふさわしい風格を醸し出しています。天守閣からの眺めも素晴らしい、緑豊かな高野山系や市内を流れる雄大な紀の川など和歌山市街を四方に見下ろし、360度のパノラマを楽しむことができます。城内には頼宣公が築いた紅葉渓庭園があり、秋の季節に最も美しい風景を見ることがあります。市内南部に位置する紀州東照宮は家康公を祀り、極彩色の社殿は壁画が描かれており、今も「権現様」と呼ばれて親しまれています。また、近くの和歌浦湾には、地中海の港町をイメージしたテーマパークやホテル、

阪神を中心に各地から多くの観光客が訪れています。桜の名所、紀三井寺は紀州徳川家歴代藩主が訪れ、繁榮を祈願した寺です。西国三十三所の第二番札所で、関西一の早咲きの桜で知られています。淡嶋神社では全国から奉納された人形を祀っています。女性のための神様として広く信仰され、毎年3月3日の雛流し神事でも知られています。

8月の第一土曜日は和歌山市の祭り、紀州おどり「ぶんだら節」が行われます。昭和44年に始まる伝統あるお祭りで、数多くの連が和歌山城周辺を練り歩きます。当金庫も毎年参加し、本部・和歌山市内店舗を中心約300名の役職員が一緒に踊ります。同時に開催される「紀州よさこい祭り」には全国各地からの参加をいただき、大勢の人で賑わいます。和歌山の夏を盛り上げるお祭りとなっています。

和歌山県は、海の幸、山の幸、川の幸に恵まれていますが、和歌山市にはラーメン店がたくさんあります。大きな特徴は、豚骨と醤油を合せたスープがベースとなっています。店舗によって、豚骨味が強かつたり、醤油味が強かつたりと、味が異なります。その他にもテープルの上に、ゆで卵や早ずし

豪快なマグロの解体ショーが人気の観光魚市場などが建ち並ぶ人気リゾート「和歌山マリーナシティ」があり、京阪神を中心に各地から多くの観光客が訪れています。桜の名所、紀三井寺は紀州徳川家歴代藩主が訪れ、繁榮を祈願した寺です。西国三十三所の第二番札所で、関西一の早咲きの桜で知られています。淡嶋神社では全国から奉納された人形を祀っています。女性のための神様として広く信仰され、毎年3月3日の雛流し神事でも知られています。

8月の第一土曜日は和歌山市の祭り、紀州おどり「ぶんだら節」が行われます。昭和44年に始まる伝統あるお祭りで、数多くの連が和歌山城周辺を練り歩きます。当金庫も毎年参加し、本部・和歌山市内店舗を中心約300名の役職員が一緒に踊ります。同時に開催される「紀州よさこい祭り」には全国各地からの参加をいただき、大勢の人で賑わいます。和歌山の夏を盛り上げるお祭りとなっています。

和歌山県は、海の幸、山の幸、川の幸に恵まれていますが、和歌山市にはラーメン店がたくさんあります。大きな特徴は、豚骨と醤油を合せたスープがベースとなっています。店舗によって、豚骨味が強かつたり、醤油味が強かつたりと、味が異なります。その他にもテープルの上に、ゆで卵や早ずし

豪快なマグロの解体ショーが人気の観光魚市場などが建ち並ぶ人気リゾート「和歌山マリーナシティ」があり、京阪神を中心に各地から多くの観光客が訪れています。桜の名所、紀三井寺は紀州徳川家歴代藩主が訪れ、繁榮を祈願した寺です。西国三十三所の第二番札所で、関西一の早咲きの桜で知られています。淡嶋神社では全国から奉納された人形を祀っています。女性のための神様として広く信仰され、毎年3月3日の雛流し神事でも知られています。

8月の第一土曜日は和歌山市の祭り、紀州おどり「ぶんだら節」が行われます。昭和44年に始まる伝統あるお祭りで、数多くの連が和歌山城周辺を練り歩きます。当金庫も毎年参加し、本部・和歌山市内店舗を中心約300名の役職員が一緒に踊ります。同時に開催される「紀州よさこい祭り」には全国各地からの参加をいただき、大勢の人で賑わいます。和歌山の夏を盛り上げるお祭りとなっています。

和歌山県は、海の幸、山の幸、川の幸に恵まれていますが、和歌山市にはラーメン店がたくさんあります。大きな特徴は、豚骨と醤油を合せたスープがベースとなっています。店舗によって、豚骨味が強かつたり、醤油味が強かつたりと、味が異なります。その他にもテープルの上に、ゆで卵や早ずし

Shinkin Data



であい ふれあい おつきあい

理事長：田谷 節朗

創立：明治44年8月23日

本店所在地：和歌山県和歌山市本町2-38

会員数：51,924人

出資金：25億円

預資金：1兆401億円

貸出金：3,540億円

店舗数：46店舗

常勤役職員数：809人 (平成28年9月末現在)



どうぞ皆さまも、ぜひ和歌山を訪れていただける日をお待ち申し上げます。

4360人の方が当県を訪れてくださいました。地域との連携を深め、地域社会の再生と持続的な発展に寄与してまいります。



和歌山ラーメン▶



毎月一回発行
岡崎市菅生町字元菅四一

発行／岡崎信用金庫
電話／(〇五六四)二五一七三四一
<http://www.okashin.co.jp>
編集／地域振興部

岡崎市亀井町一の五
合資会社 永田印刷所

おかしんからのお知らせ Okashin News

井田支店にシンボルアートを設置

井田支店新築にあたり、(社)日本建築美術工芸協会のご協力により新店舗のシンボルにふさわしいお二人の若手芸術家(安部大雅、加藤恵利)のアート作品を設置いたしました。



[作品名]結一岐(KEKKI)

安部大雅(日本美術家連盟会員)

終結する過去と分岐する未来の間にある今という交差点をイメージしました。様々な歴史、過ぎていった人々の思いや営みが集結した今という点に立つ我々。そしてそこから未来へと無数に枝分かれする道。道を選び次の一步を踏み出す場所です。そこで悩み足を止める人々の隣に寄り添いそっと支えるおかしんをイメージした作品です。



[作品名] Bloom～芽吹く～

加藤恵利(愛知県出身、岡崎市在住)

植物が芽吹くようにいろいろな希望や願いがいつの間にか芽吹き始め、それらがどんどん大きく膨らんで、人と人との想いを繋ぎ、そこから又何かが芽吹くという意味を込めて作りました。ご来店頂いた方々が少しでも楽しい気持ちになつていただくことをイメージした作品です。

岡崎信用金庫資料館 特別企画のご案内

日本画二人展 4月4日(火)～5月31日(水)



石谷 雅詩 × 河本 真里
いしがい まさし × かわもと まり

「休息」
再興第99回院展出品作品



「いつかの夏」
再興第99回院展出品作品

岡崎市伝馬通1丁目58番地 TEL.0564-24-2367

開館時間：10時～17時(入館は16時30分まで)
休館日：月曜日・祝日 入館料：無料